

# スピーチコンテスト規則

2015-2016

2013年トーストマスターズインターナショナルにより著作権取得。すべての権利は留保される。トーストマスターズインターナショナル、トーストマスターズインターナショナルのロゴおよびその他すべてのトーストマスターズインターナショナルの商標および著作権は、トーストマスターズインターナショナルの独占的な所有物であり、許可を得た場合のみ使用し得る。

英語版2015年7月改定

(英語版オリジナルカタログ番号: 1171)





# 目次

はしがき.....

スピーチコンテスト規則.....

すべてのトーストマスターズスピーチコンテストに関する一般的規則...

国際スピーチコンテスト規則 .....

論評コンテスト規則 .....

ユーモアスピーチコンテスト規則.....

テーブルトピックスコンテスト規則.....

ほら話コンテスト規則.....

テープによるスピーチコンテスト.....

スピーチコンテストチェックリスト.....

コンテスト委員長のチェックリスト.....

審査委員長のチェックリスト.....

出場者のチェックリスト.....

スピーチコンテスト資料.....

追加資料.....



## はしがき

---

スピーチコンテストは、トーストマスターズの教育プログラムの中で重要な部分を占める。コンテストは、トーストマスターズがスピーチをする経験を得る機会を提供することはもちろん、その他のトーストマスターズが熟達したスピーカーを見ることにより学ぶ機会をも提供する。

この小冊子は、国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、および、ほら話コンテストを行うための規則と標準的な手順を扱っている。あなたがスピーチコンテストの実施または出場にかかわる場合は、これらの規則を注意深く読み、それに従っていただきたい。そうすることによって、公正なスピーチコンテストとなり、また参加者すべてにとっても楽しい行事となることが確実になる。

この小冊子は、次の3つの部分から構成されている。

- ▶**スピーチコンテスト規則。**すべてのトーストマスターズスピーチコンテストを律する一般的規則、ならびに国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、および、ほら話コンテストを取り扱う特定の規則を見つけることができる。
- ▶**コンテストチェックリスト。**この部分では、コンテスト委員長、審査委員長、および出場者が、スピーチコンテストの準備をするために必要とされる共通の手順の一部を記述している。
- ▶**追加資料。**この部分では、トーストマスターズのスピーチコンテストに関連する追加のマニュアル、記事、ホームページ、その他の役に立つ資料のリストを見つけることができる。

注記：規則変更は管理手順に基づき年に一度行われ、国際会長、次期国際会長、ならびにエグゼクティブ・ディレクターの承認を受け決定される。変更点は左端に(◆)の印がついている。

# スピーチコンテスト規則

## すべてのトーストマスターズスピーチコンテストに関する一般的規則

特に記載のない限り、これらの規則は、トーストマスターズインターナショナルのクラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトが実施するすべてのスピーチコンテストはもとより、国際大会で行われるすべてのコンテストにも適用される。

### 1. スピーチコンテストの方針

A.トーストマスターズインターナショナルは、下記の公式スピーチコンテストを認め、支援している。

1. 国際
2. 論評
3. ユーモア
4. テーブルトピックス
5. ほら話
6. テープによるコンテスト:このコンテストは、下記のクラブの会員のためにある;
  - a) ディストリクトに所属しないクラブ
  - b) 暫定的ディストリクトに所属するクラブ

B.スピーチコンテストは、下記の必要条件に従わなければならない。

1. スピーチコンテスト出場者は、スピーチコンテスト規則集に概説されているすべての適格条件を満たさなければならない。
2. ディストリクトは、国際スピーチコンテストを実施しなければならない。

3. ディストリクトは、上記のリストから選ばれる3つまでの追加のコンテストを実施することができる。
  4. エリア、ディビジョン、またはディストリクトレベルで認可される唯一のコンテストは、クラブレベルから始まり、エリア、ディビジョン、およびディストリクトレベルへと進んでいくコンテストである。
- C. スピーチコンテスト規則集は、遵守すべき規則であり、すべての公式トーストマスターズスピーチコンテストに適用される。規則に対する変更は、管理上の規則見直し過程を通してのみ可能である。例外は、認められない。

## 2. 適格性

- A. 公式のトーストマスターズスピーチコンテストに出場する資格があるためには、会員は、下記を満たす必要がある。
1. 出場しようとしているクラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトにおいて活動状況良好な会員でなければならない。
    - a) クラブもまた活動状況良好でなければならない。
    - b) 新、二重、または復帰会員は、世界本部に会費と会員申請書を提出済みでなければならない。
  2. さらに、国際スピーチコンテストに出場する資格があるためには、会員は、クラブコンテストの前に少なくともコンピテントコミュニケーションマニュアルの6つのスピーチプロジェクトを完了していなければならない。国際コンテスト以外のスピーチコンテストに出場するものは、この条件を満たす必要はない。
    - ◆ a) ただし、クラブコンテスト実施日から起算して一年未満に設立されたクラブの設立メンバーは、この条件を完了することなく出場することが認められる。このクラブはエリアコンテスト以前に公式に設立認可されていなければならない。
  3. コンテストのすべてのレベルで適格性を維持しなければならない。
    - a) いずれかのレベルで、出場者はそれ以前のレベルで出場する資格がなかったものと断定された場合、出場者は失格とされねばならない。この失格は、不適格性がもっと後のレベルで発見され、すでに是正されていたとしても、生じるものとする。
  4. 下記のものは、トーストマスターズのスピーチコンテストに出場する資格がない。

- a) その会員が出場している、または出場しようとしている、クラブレベルより上のコンテストにて、審査委員長、審査委員、同点審査委員を務める会員
- b) 現職の国際役員または理事
- c) リージョンアドバイザーまたはその応募者
- d) 任期が6月30日に終了する次のディストリクト役員
  - 1. ディストリクトディレクター
  - 2. いずれかの副ディストリクトディレクター
  - 3. ディストリクト総務マネージャー
  - 4. ディストリクト財務マネージャー
  - 5. ディストリクト広報マネージャー
  - 6. ディビジョンディレクター
  - 7. エリアディレクター
- e) 国際役員および理事候補者
- f) 前ディストリクトディレクター
  - g) ディストリクト役員、または来るべき7月1日から始まる任期において選挙で選ばれる役員候補として公表された者
  - h) エリア、ディビジョン、ディストリクトの行事、ならびに国際大会を含み、コンテストが行われる行事での教育的部会でのプレゼンター
- 5. コンテスト委員長、審査委員長、審査委員、計時係、集計係、会場係、テストスピーカーとして自身が携わるコンテストには出場できない。
- 6. 国際大会の間に8月に開催される国際コンテスト決勝戦での優勝者は、いかなるレベルであれ国際コンテストに再び出場する資格はない。
- 7. 2つ以上のクラブの会員でその他すべての適格性条件を満たすトーストマスターは、会員資格が良好な状況の各クラブコンテストに出場することが認められる。
  - a) 会員が2つ以上のクラブの国際スピーチコンテストに優勝した場合、エリアレベルではこれらのクラブのいずれか一つのみを代表することが認められる。



- b) 2つのエリアが異なるディビジョンまたはディストリクトに所属するとしても、出場者は、所与のタイプの2つ以上のエリアコンテストに出場することはできない。
8. 各出場者は、出場するためには出席しなければならない。オーディオテープ、ビデオテープ、電話会議、ホームページカメラ、ストリーミングオーディオ、またはその他の遠隔技術による参加は認められない。(例外:この規則集のテープによるスピーチコンテストの部分で概説される通り、テープによるスピーチコンテストへの参加者は、出品物をオーディオレコーディングで提出する必要がある。)
- B. トーストマスターズスピーチコンテストにおいて審査委員長、審査委員、同点審査委員になるには、下記に特定するすべての資格条件を満たす必要がある。
1. クラブ内コンテストの場合、活動状況良好な会員でなくてはならない。
  2. エリア、ディビジョン、およびディストリクトスピーチコンテストの場合:
    - a) 少なくとも6か月間、活動状況良好なトーストマスターズ会員でなくてはならない。
    - b) コンピテント・コミュニケーションマニュアルの少なくとも6つのスピーチプロジェクトを完了していなければならない。
  3. 国際コンテスト決勝および国際コンテストの場合:
    - a) 少なくとも6か月間、活動状況良好なトーストマスターズ会員でなくてはならない。
    - b) 少なくともアドバンスト・トーストマスター・ブロンズまたはアドバンスト・コミュニケーター・ブロンズでなくてはならない。
    - c) エリア、ディビジョン、ディストリクト、または準決勝レベルでのトーストマスターズスピーチコンテストにおける審査経験が必要。
  4. どのレベルのコンテストの審査委員も、可能な限り匿名でなければならない。

### 3. 予選の進め方

- A. クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクト。活動状況良好な各クラブは、各エリアスピーチコンテストへの出場者を、クラブが望む方法で選ぶことが認められる。コンテストが開催されるなら、このマニュアルの規則に準拠し、またこのコンテストの結果は、最終であり変更はない。エリアスピーチコンテストの1位優勝者は、該当する場合ディビジョンコンテストに進む。ディビジョンコンテストの1位優勝者は、ディストリクトコンテストに進む。
- 10またはそれ以上のディビジョンを有するディストリクトでは、ディストリクトコンテスト決勝戦の前に、ディビジョン優勝者間で2つの別個の優勝決定戦を開催してもよい。
    - a) 実行可能である限り、各優勝決定戦で競うディビジョンの数は同数とする。
    - b) 各優勝決定戦から得られる3名の最上位出場者がディストリクトコンテストに進む。
  - エリアまたはディビジョンコンテスト優勝者が次のレベルのコンテストに参加できない場合は、参加できる最上位出場者がそのレベルに進む。
  - 国際スピーチコンテストは、ディストリクトレベルを超えて進める唯一のコンテストである。ディストリクトレベル国際スピーチコンテストに引き続き、審査委員長はすべてのディストリクトレベル出場者を結果の順に位置づけ、そのリストを世界本部に提出する。準決勝コンテストに関する詳細情報は、世界本部から優勝者と次点者に提供される。
  - 国際スピーチコンテストでのディストリクト出場者が準決勝戦に出場できない場合、次の最上位に位置づけされる出場者に世界本部から連絡がある。
- B. エリアコンテスト8週間前の時点で、帰属する活動良好なクラブ数が4以下のエリアにおいては、ディストリクトの裁量において、各クラブから2名の出場者をエリアコンテストに送ることができる。
- エリアコンテスト以前に追加のクラブが認可された場合でも、各クラブから2名の出場が認められる。
  - 帰属エリアが4以下のディビジョンでは、ディストリクトの裁量において、各エリアからコンテスト順位が最も高い2名の出場を認めてもよい。
  - 帰属するディビジョンが4以下のディストリクトでは、ディストリクトは、各ディビジョンからコンテスト順位が最も高い2名がディストリクトコンテストに参加することを認めてもよい。
  - 2名の出場者を、クラブからエリアに、エリアからディビジョンに、および・またはディビジョンからディストリクトに進めることを認めるかどうかの決定は、コンテスト会期の開始、つまりクラブコンテスト開催に先立って行い、ディストリクト全体に連絡しておかなければならない。

- a) その決定がなされた場合は、すべての当該クラブ、エリアおよびディビジョンを通して、ディストリクト中で一貫して実施されなければならない。
- b) ディストリクトが、2名の出場者がクラブからエリアに進めるという決定をしたとしても、エリアからディビジョン、および(または)ディビジョンからディストリクトに進む人数に関する決定は、それと同一である必要はない。

#### 4. スピーチ題目と準備

- A. すべての国際、ユーモア、および、ほら話コンテストスピーチの題目は、出場者が選択するものとする。
- B. テーブルトピックススピーチの題目は、この規則集のテーブルトピックスコンテストの部分で概説する通り、コンテスト委員長により決定されるものとする。
- C. 論評コンテストスピーチの題目は、この規則集の論評コンテスト部分で概説する通り、テストスピーカーのスピーチの口頭による論評に限定されるものとする。
- D. 出場者は、自分自身のスピーチを準備し、また各スピーチは実質的に独自のものでなければならない。
  - 1. 国際、ユーモア、および、ほら話コンテストのスピーチは、スピーチの発表に先立ち、出場者により審査委員長に書面によりそのように証明されなければならない(様式1183の「出場者の適格性および独自性の証明書」を使用)。
  - 2. スピーチの25%以下ならば、他人の表現の引用や言い換えあるいはその言及に当ててもよい。いかなる引用や言い換えや言及も、スピーチを披露する際にその出典を明らかにしなければならない。
- E. すべての出場者は、コンテスト委員長により指定された同一の舞台または場所でスピーチを行うものとする。
  - 1. すべての出場者と審査委員は、コンテスト開始前に、スピーキング・エリアについての説明を受けるものとする。
  - 2. 演台は提供されるが、その使用は任意とする。
  - 3. マイクが必要な場合は、演台固定式マイクおよび可搬式マイクが提供される。
  - 4. すべての機材はコンテストに先立って、出場者の練習用に供される。出場者は、コンテスト委員長に紹介される前に、自己の責任において演台固定式マイクその他の装備を、自分の目的に沿うよう静粛に整えるものとする。

## 5. コンテストの進行手順

- A. トーストマスターズスピーチコンテストの各レベルにおいて、特定の人数の審査委員および役員が必要である。
1. クラブ内コンテストにおいては、実行可能な限り、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、5名以上の審査委員、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名が指名される。
  2. エリアコンテストにおいては、エリアを構成するクラブから同数の審査委員か、または少なくとも5名の審査委員を選出する。これらの審査委員に加えて、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名が指名される。
  3. デイビジョンコンテストにおいては、デイビジョンを構成するエリアからの同数の審査委員か、または少なくとも7名の審査委員を選出する。これらの審査委員に加えて、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名が指名される。出場者が所属するクラブのメンバーは、審査委員長、審査委員、同点決着審査委員を務めてはならない。
  4. ディストリクトコンテストにおいては、ディストリクトを構成するデイビジョンからの同数の審査委員か、または少なくとも7名の審査委員を選出する。これらの審査委員に加えて、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名が指名される。出場者が所属するクラブのメンバーは、審査委員長、審査委員、同点決着審査委員を務めてはならない。
  5. 国際コンテストにおける準決勝コンテストでは、各ディストリクトからの同数の審査委員か、または少なくとも9名の審査委員を選出する。これらの審査委員に加えて、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名を指名する。出場者が所属するクラブのメンバーは、審査委員長、審査委員、同点決着審査委員を務めてはならない。
  6. 国際コンテスト決勝戦においては、各リージョンから1名ずつ代表が審査委員を務める。これらの審査委員に加えて、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、資格要件審査委員5名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名を指名する。出場者が所属するクラブのメンバーは、審査委員長、審査委員、資格要件審査委員、同点決着審査委員を務めてはならない。
- B. コンテストに先立って出場者はコンテスト委員長から規則説明を受ける。次いで出場者はコンテスト委員長のところでくじを引き、出場順を決める。
- C. 規則説明の時に出場者が欠席の場合には、補欠の出場者がいるならば、当初予定の出場者のかわりに規則説明に出席することができる。
1. コンテストの司会者が紹介されたときに、当初予定の出場者が出席していない場合は失格となり、補欠の者が正規の出場者となる。

2. 当初予定の出場者が、説明会の後であるがコンテストの司会者が紹介される前に到着した場合、当初予定の出場者は、以下をすべて満たす場合、出場が許される:
    - a) 到着をコンテスト委員長に報告すること
    - b) コンテストの司会者がコンテストの開始を宣言する前にすべての必要な書類手続きを完了すること
    - c) 規則説明してもらう権利を放棄すること
- D. コンテストの前に、審査委員、集計係、および計時係は審査委員長から役割の説明を受ける。
1. 各審査委員は、コンテストの適切な投票用紙と封筒を受け取る。
    - a) 国際スピーチコンテスト審査委員は、様式1172の「国際スピーチコンテスト審査用紙」を受け取る。
    - b) 論評コンテスト審査委員は、様式1179の「論評スピーチコンテスト審査用紙」を受け取る。
    - c) ユーモアコンテスト審査委員は、様式1191の「ユーモアスピーチコンテスト審査用紙」を受け取る。
    - d) テーブルトピックスコンテスト審査委員は、様式1180の「テーブルトピックスコンテスト審査用紙」を受け取る。
    - e) ほら話コンテスト審査委員は、様式1181の「ほら話コンテスト審査用紙」を受け取る
    - f) すべての審査委員は、「審査委員適格性証明書および倫理規定」(様式1170)を受け取る。この書式に署名して、審査委員長に戻さなければならない。
  2. 計時係は、様式1175の「時間記録用紙および計時係に対する指示」を受け取る。必要な場合、計時係はまた、計時機器の適切な使用に関する指示を受ける。
  3. 集計係は、様式1176の「集計係用集計用紙」を受け取る。必要な場合、集計係はまた、投票用紙回収の指示および集計室での手順の指示を受ける(下記に記述する)。
- E. コンテストの前に、審査委員長は、同点決着審査委員として行動する会員を選ぶ。
1. 同点決着審査委員の身元は秘密であり、審査委員長だけが知っている。
  2. 同点決着審査委員は、審査委員の説明会には出席しない。

3. 審査委員長は、コンテストの開始前に、「同点決着審査用紙」を同点決着審査委員に支給する。
  - a) 国際スピーチコンテスト審査委員は、様式1188の「国際スピーチコンテスト同点決着審査用紙」を受け取る。
  - b) 論評コンテスト審査委員は、様式1179A の「論評スピーチコンテスト同点決着審査用紙」を受け取る。
  - c) ユーモアコンテスト審査委員は、様式1191A の「ユーモアスピーチコンテスト同点決着審査用紙」を受け取る。
  - d) テーブルトピックスコンテスト審査委員は、様式1180A の「テーブルトピックスコンテスト同点決着審査用紙」を受け取る。
  - e) ほら話コンテスト審査委員は、様式1181A の「ほら話コンテスト同点決着審査用紙」を受け取る。
- F. 国際、ユーモア、および、ほら話コンテストについては、出場者の氏名、スピーチのタイトル、スピーチのタイトル、そして出場者の氏名を告知することにより各出場者を紹介する。
  1. テーブルトピックスコンテストについては、出場者の氏名、トピック、トピック、そして出場者の氏名を告知することにより各出場者を紹介する。
  2. 論評コンテストについては、出場者の氏名を2回繰り返すことにより、各出場者を紹介する。
- G. 国際、ユーモア、および、ほら話コンテスト出場者は、コンテストのあいだ同じ会場に留まっていたよいものとする。
- H. この規則集の論評コンテストの部分で概説する通り、論評コンテスト参加者は、テストスピーチが発表されたのち、会場から出ることが要求される。
- I. この規則集のテーブルトピックスコンテストの部分で概説する通り、前のスピーカーがトピックに対する反応を終えるまで、テーブルトピックス出場者は会場から出ていなければならない。
- J. 出場者のスピーチとスピーチの間に1分間の沈黙時間を設け、この間に審査委員は投票用紙にマークする。すべての審査委員はすべての出場者を審査するが、審査委員長は出場者を審査しない。
- K. 最後の出場者がスピーチを終了したとき、コンテスト委員長は、投票用紙集計係がすべての投票用紙を回収するまで静粛を守るように依頼する。
  1. 投票を有効なものとするために、審査委員に次のことが義務付けられる：

- a) 第一位、第二位、第三位を選び記入する。
  - b) 投票用紙に自分の名前を署名し、活字体でも記入する。
2. 審査委員は投票用紙への記入を終えたら、投票用紙の下部を切り取り、それを配布された封筒に入れ、投票用紙集計係に回収してもらうよう差し出す。
- a) 審査委員は、投票用紙の上の部分を投票用紙集計係に渡すことなく、コンテストの終了後、目立たないように廃棄しなければならない。
3. 審査委員長は、同点決着審査委員の投票用紙を自分で回収する。それには同点決着審査委員により順位づけられたすべての出場者が含まれていなければならない。
- a) 同点決着審査委員は、投票用紙の上の部分を審査委員長に渡すことなく、コンテストの終了後、目立たないように廃棄しなければならない。
4. コンテスト終了後、全ての審査委員が投票用紙に投票を書き込んでいる間に、計時係り時間記録用紙の記入を完了し、提供された封筒に入れ、審査委員長へ手渡す。
- L. すべての投票用紙が回収されたなら、投票用紙集計係と審査委員長は、コンテスト会場を離れて、集計室に向かう。
1. 集計室では、投票用紙集計係は、様式1176の集計係集計用紙を使用してコンテストの結果を集計する。
- a) 集計係の集計用紙上で、各出場者は、審査委員の投票用紙で第一位、第二位、第三位に順位づけられたことに対して点数を受け取る。
    1. 各第一位の順序づけに対して3点が与えられる。
    2. 各第二位の順序づけに対して2点が与えられる。
    3. 各第三位の順序づけに対して1点が与えられる。
  - b) すべての点数が記入されると、投票用紙集計係は、各出場者に対する合計点数を計算し、集計用紙の下部に合計を記入する。
    1. 結果が用紙に記入される前に、合計点数はすべての投票用紙集計係によって照合されなければならない。
    2. 出場者は、得点数に従って、投票用紙の下部に順序づけられる。
  - c) 同点があった場合、審査委員長は、同点決着審査委員の投票を参照する。

- d) 同点決着審査委員の投票用紙で一番高い順位を得た同点出場者が競った順位を得て、その他の同点出場者は、その出場者に次ぐ順位に位置づけられる。
2. 結果が集計され、確認されると、審査委員長は「コンテスト入賞者通知用紙」(様式1182)にすべての出場者の順位を記録し、それを次のレベルのコンテスト委員長に提出する。ディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの場合は、それを世界本部に提出する。審査委員長は別の用紙に、入賞者の名を低い入賞順から記録し、コンテスト委員長に渡す。
    - a) すべての投票用紙および集計用紙は、優勝者たちが公表されるまで審査委員長が保管する。
    - b) 入賞者たちが発表された後、審査委員長は、すべての投票用紙、計時記録用紙、および集計用紙を破棄する。
- M. 出場者のインタビューが終了した後、コンテスト委員長は、コンテストの優勝者たちを逆の順序で公表する。
1. 5名以上の参加者のあるコンテストでは、第三位優勝者、第二位優勝者、そして第一位優勝者が公表される。
  2. 4名以下の参加者のあるコンテストでは、第二位優勝者および第一位優勝者が公表される。
  3. ときとして、コンテストがただ1名の出場者のみで開催されることがある。そのような場合でも、コンテストはやはり開催されなければならないが、出場者が計時上、独自性上、または適格性上の条件を満たさない場合は、出場者は失格とされなければならない。
  4. コンテスト優勝者の公表は、そのリストが誤って公表されない限り、最終であり変更はない。誤って公表された場合は、審査委員長、投票集計係、または計時係はその誤りを是正するためにただちに割って入ってよいものとする。

## 6. スピーチの計時方法

- A. 2名の計時係が審査委員長によって指名される。1名にはストップウォッチが支給され、もう1名には緑、黄、赤色を示す表示器具が支給される。
- B. 表示器具は、各出場者から完全に見えなければならない。
- C. ストップウォッチを持つ計時係は、時間記録用紙および計時係に対する指示(1175)に、各スピーチの経過時間を書き込んで記録し、審査委員長に渡す。
- D. 表示機器を管理する計時係は、出場者がスピーチの間適切な時間ごとに正確な緑、黄、赤色を見ることができることを保証する。



E. 出場者により発表されるすべてのスピーチは、コンテストの計時方針に適合しなければならない。

1. 国際およびユーモアスピーチは、5分から7分でなければならない。スピーチが4分30秒未満であるかまたは7分30秒を超える場合、出場者は失格となる。
2. テーブルトピックスコンテストスピーチは、1分から2分でなければならない。スピーチが1分未満または2分30秒を超える場合、出場者は失格となる。
3. 論評コンテストスピーチは、2分から3分でなければならない。スピーチが1分30秒未満または3分30秒を超える場合、出場者は失格となる。
4. ほら話スピーチは、3分から5分でなければならない。スピーチが2分30秒未満または5分30秒を超える場合、出場者は失格となる。

F. 紹介されると、出場者はただちにスピーキング位置に向かわなければならない。

1. 計時は、出場者の聴衆との最初の明確な言葉によるまたは言葉によらないコミュニケーションとともに始まる。これは、通常は出場者により発せられる初めの言葉であるが、音響効果、他の人による舞台での行動のようなその他のコミュニケーションをも含むものとする。
2. スピーカーは、スピーキング・エリアに到着後、短い時間内にスピーチを始めるものとし、コンテストを不必要に遅らせることは認められない。

G. 計時係は、出場者に警報信号を提供するものとし、それはスピーカーには明瞭に見えるが、聴衆には見えないものとする。

1. 国際およびユーモアコンテストについては、
  - a. 緑の信号は、5分で表示され、1分間表示し続けられる。
  - b. 黄の信号は、6分で表示され、1分間表示し続けられる。
  - c. 赤の信号は、7分で表示され、スピーチの終了まで表示し続けられる。
2. 論評コンテストについては、
  - a. 緑の信号は、2分で表示され、30秒間表示し続けられる。
  - b. 黄の信号は、2分30秒で表示され、30秒間表示し続けられる。
  - c. 赤の信号は、3分で表示され、論評の終了まで表示し続けられる。
3. テーブルトピックスコンテストについては、

- a. 緑の信号は、1分で表示され、30秒間表示し続けられる。
  - b. 黄の信号は、1分30秒で表示され、30秒間表示し続けられる。
  - c. 赤の信号は、2分で表示され、スピーチの終了まで表示し続けられる。
4. ほら話コンテストについては、
- a. 緑の信号は、3分で表示され、1分間表示し続けられる。
  - b. 黄の信号は、4分で表示され、1分間表示し続けられる。
  - c. 赤の信号は、5分で表示され、スピーチの終了まで表示し続けられる。
5. すべてのスピーチコンテストで、超過時間の期間を示す信号は示されない。
6. 視覚に障害のある出場者は、望みの手段による時間警告を要請できるものとし、この要請は許諾されなければならない。
- a. 受け入れられる警告信号は、それに限るものではないが、ブザー、ベル、または5分、6分、および7分で時間を告げる人を含むものとする。
  - b. そのような信号に関する特別な道具および・または特別の指示を望むときは、出場者がそれらを準備するものとする。
7. 信号または計時機器の技術的故障の場合、出場者は、失格とされる前に、30秒間余分な時間超過が許容される。
- H. コンテスト委員長は結果発表前に時間失格の有無を述べるが、失格者の名は明かさない。

## 7. 異議申し立ておよび失格

- A. 異議の申し立ては適格要件および独自性に関するものに限られ、審査委員と出場者のみが行うことができる。異議は、優勝者と次席の者の発表より以前に、審査委員長またはコンテスト委員長あるいはその両者に申し立てること。
- B. 独自性を満たさない失格を決する前に、出場者は審査委員に弁明する機会を与えられなければならない。失格に関する決定のためには、審査委員の過半数の同意がなければならない。
- C. コンテスト委員長は、資格要件を満たさない失格を決定することができる。
- D. 審査委員および資格要件審査委員による決定があった後は、その変更はないものとする。

## 国際スピーチコンテスト規則

---

英語のみで行われる国際スピーチコンテストは、この規則集の一般的規則の部分で概説するすべての規則に従う。それに加えて、下記の追加および例外が適用される。

1. 国際スピーチコンテストは、クラブレベルで始まり、エリア、ディビジョン(該当するなら)、ディストリクト、準決勝、および国際レベルに進んでいく。
- ◆ A. 準決勝は国際大会中に開催され、すべてのディストリクト優勝者が出場者として参加し、別々のコンテストに無作為に割り当てられる。
1. 準決勝スピーチコンテストに関するすべての出場者に対する説明会は、世界本部の職員により同時に行われる。
  2. 準決勝スピーチコンテストに関するすべての審査委員に対する説明会もまた、世界本部の職員により同時に行われる。
- B. 国際スピーチコンテストの決勝戦に対するすべての参加者は、同じ年の1月1日以来、どんな国際スピーチコンテストでなされたスピーチとも異なる全く新たなスピーチを提示しなければならない。
1. 準決勝スピーチコンテストを含めそれまでは、国際スピーチコンテスト出場者は同じスピーチを使用することを認められるが、そうすることは求められない。
  2. 国際大会における各準決勝での優勝者は、準決勝で勝ち取ったスピーチの概要を準備し、世界本部に引き渡すものとし、本部は、国際コンテストに関する審査委員説明会の前に、その概要を資格要件審査委員に渡すものとする。
  3. 資格要件審査委員はまた、スピーカー適格性用紙(様式1186)をも受け取る。この用紙に、審査委員は、国際スピーチコンテストの決勝戦で発表されるスピーチが、準決勝戦で発表されたスピーチと比べて全く新たで、異なるかどうかを記述する。
  4. コンテストの終わりに審査委員が投票用紙に記入している間に、資格要件審査委員は、スピーカー適格性用紙に記入し、署名し、支給された封筒に入れ、投票集計係が回収するために保持しておく。
  5. 投票集計室では、審査委員長はすべてのスピーカー適格性用紙を開き、チェックする。5名の資格要件審査委員のうち3名が一定の出場者についての失格欄にチェックを入れると、そのスピーカーは失格となり、抗議はできないものとする。

## 論評コンテスト規則

---

論評スピーチコンテストは、この規則集の一般的規則の部分で概説されているすべての規則に従う。それに加えて、下記の追加および例外が適用される。

1. このコンテストの開始にあたり、5分から7分のテストスピーチが提示される。
  - A. テストスピーチは、コンテストタイプのスピーチか、またはコンピテントコミュニケーションマニュアルの課題の一つからとったスピーチか、どちらかであるものとする。
  - B. 出場者は、テストスピーチの間自分で選んだ材料を使用して準備のノートを取ることが認められる。
  - C. コンテストのすべてのレベルにおいて、テストスピーチをするトーストマスターは、出場者のいずれか一人と同じクラブの会員でないことを勧告する。
  - D. テストスピーカーは、スピーカーの氏名、スピーチタイトル、スピーチタイトル、スピーカーの氏名を発表することにより紹介されるものとする。
  - E. スピーカーが扱っているかもしれないマニュアルプロジェクトも、またはオブジェクティブも、出場者、審査委員、または聴衆に知らせてはならない。
2. テストスピーチの終了時に、すべての出場者は、会場を離れなければならない。そして、自分で選択した材料を利用して論評の準備をするために5分間を与えられる。
  - A. 計時と準備の監督は、コンテスト会場系の管理下に置かれる。
  - B. 出場者が会場を離れるのが現実的でない場合、出場者は、コンテスト会場系の監督下で同じ会場で5分間の準備を完了する。
- ◆ C. 出場者はコンテスト中、電子機器またはその他の機材等の公正さを欠く使用をしてはならない。
3. 5分間が経過したのち、それ以上の準備は認められず、第一の論評者として呼びもどされる最初の出場者の例外を除き、すべての他の出場者はすべての書面による材料をコンテスト会場係に手渡すものとする。準備資料は、論評を発表するよう紹介されるときに、出場者に返還されるものとする。
4. 各出場者を、出場者の氏名を2回発表することにより紹介する。論評スピーチにはタイトルがないため、これは標準的な氏名、スピーチタイトル、スピーチタイトル、氏名というやり方とは違うことに注意しよう。

## ユーモアスピーチコンテスト規則

---

ユーモアスピーチコンテストは、この規則集の一般的規則の部分に概説されているすべての規則に従う。それに加えて、下記の追加と例外が適用される。

1. ユーモアスピーチの題目は、出場者によって選ばれるものとする。スピーカーは、潜在的に礼節に反する言葉、逸話、および材料を避けるべきである。
2. スピーチは、事実上テーマを持っており(序論、本論、結論)、長談義(気のきいたジョークの連続)であってはならない。

## テーブルトピックスコンテスト規則

---

テーブルトピックスコンテストは、この規則集の一般的規則の部分に概説されているすべての規則に従う。それに加えて、下記の追加と例外が適用される。

1. すべての出場者は、一般的な性質の同一のトピックを受ける。
2. トピックは、適切な長さであり、詳細な知識を必要とせず、意見または結論に導くものとする。
3. 出場者は、コンテスト委員長により紹介される瞬間まで、トピックについて事前の知識を受けない。
- ◆ 4. 出場者はコンテスト中、電子機器またはその他の機材等の公正さを欠く使用をしてはならない。
5. コンテストが始まると、第一番目の出場者を除き、全ての出場者は会場を出、会場係の監督下に置かれる。
6. 各出場者を、出場者の氏名、トピック、トピック、出場者の氏名を発表して紹介する。
7. 各スピーチが終わると、次のスピーカーが会場に招かれる。

## ほら話コンテスト規則

---

ほら話コンテストは、この規則集の一般的規則の部分で概説されるすべての規則に従う。それに加えて、下記の追加と例外が適用される。

1. ほら話スピーチの題目は、高度に誇張され、あり得ない性質で、さらにテーマまたは筋がなければならない。
2. スピーチを支持し、例示するために、ユーモアや小道具が使用されることがある。

## テープによるスピーチコンテスト

---

1. ディストリクトに所属しないクラブおよび暫定的ディストリクトの会員は、テープによる国際スピーチコンテストに参加するように招待される。テープは英語でなければならない。
2. トーストマスターズインターナショナルのスピーチコンテスト規則は、適用しうる限り、従うものとする。
  - A. テープによるスピーチコンテストには、エリア、ディビジョン、ディストリクト、または準決勝の競争はなく、また旅費手当はない。
  - B. 参加するには、クラブはスピーチコンテストを実施し、優勝したスピーチを記録したオーディオカセットまたは CD を提出する。
3. 一クラブにつき一つのスピーチのみ提出できる。テープは、下記の手順を使用して作成される。
  - A. 実況の聴衆の前でのコンテストを記録するために、いかなる方法を使用してもよいが、記録の内容はすべてオーディオカセットあるいはオーディオ CD に記録して、世界本部に提出しなければならない。ビデオテープ、データ CD, MP3その他の媒体は受け付けない。編集がなされたプレゼンテーションは受け付けない。
  - B. 国際スピーチコンテスト規則に適合するよう、注意深くスピーチを計時すること。
  - C. オーディオテープとそのケースに参加者の氏名とクラブ番号を明記し、スピーカーの適格性および独自性の証明書(様式1183)を記入して同封すること。
  - D. 出場資格を得るためには、3月31日パシフィック時間で午後5時以前に世界本部にテープを提出しなければならない。

# スピーチコンテストチェックリスト

スピーチコンテストは入念に計画され、プロフェッショナルなやり方で実施されなければならない。このチェックリストは必須ではないが、使うことを強く勧める。

## コンテスト委員長チェックリスト

---

各スピーチコンテストは公的な行事であるから、注意深く計画し、プロフェッショナルなやり方で実施されなければならない。コンテスト委員長として、このことがなされることを監督するのが、あなたの責任である。コンテスト予算を計画し、会場とオーディオを手配し、コンテスト前とコンテスト後の PR プログラムを実施し、行事に対するすべての請求金額がただちに支払われるように監督しなければならない。各出場者が出場する資格があり、またコンテスト規則に通じていることを確認し、オーディオビジュアル機器が作動し、審査委員、計時係、集計係がそれらの職務について説明を受け、投票が注意深く集計され、表彰式で賞状が優勝者たちに渡され、それが誇りをもって迎えられることを徹底しなければならない。これらの仕事であなたを手助けするように、委員会を設置する場合でも、これらがなされることを確かめるのは、やはりあなたの責任である。

コンテスト委員長は、コンテスト司会者を指名し、「コンテスト委員長チェックリスト」にあるコンテスト委員長の役割の中のどれを務めてもらってよい。その場合、「コンテスト司会者」という言葉は、「コンテスト委員長」と同義とみなされる。また、コンテスト司会者とコンテスト委員長は共に、自分が役割を務めるコンテストに出場する資格を有しない。

## 準備

1. コンテストの収入と経費は収支トントンであるべきことを念頭に、コンテストの予算を決定する。賞状、コンテスト資料、保証金、食事、印刷、郵送料などの費用を斟酌すること。

注)コンテストに入場料が発生する場合、出場者分は免除しなくてはならない。出場者は、自身が出場することに対して費用を請求されることはない。

2. スピーチコンテストの場所と日時を選択し、適切な司会役の選任を調整すること。
3. コンテストの議案を決定すること。
4. 行事に必要なとされる供給品とサービスを準備すること。

5. すべてのコンテストスピーカーに対する参加証明書を注文し、また優勝者たちに対するトロフィーを世界本部に注文すること。(注:トーストマスターズロゴ、またはトーストマスターズ、あるいはトーストマスターズインターナショナルという言葉の世界本部から購入しないスピーチコンテスト賞状につけるのは商標権違反である。)
6. 下記の国際スピーチコンテスト資料は無料で [www.toastmasters.org](http://www.toastmasters.org) からダウンロードすることができる。
  - A. 出場者の適格性および独自性の証明書 (様式1183)
  - B. 時間記録用紙および計時係に対する指示 (様式1175)
  - C. 審査委員の手引きおよび投票用紙 (様式1172)
  - D. 集計係用集計用紙 (様式1176)
  - E. 同点決着審査委員の投票用紙 (様式1188)
  - F. 履歴データ用紙 (様式1189)
7. 審査委員長を選ぶ。審査委員長の選出に関する方針についてはこの規則集の審査委員長の要件と義務を参照のこと。
8. 役員にコンテストおよびコンテスト前の説明会の日時と場所を通知する。(たとえばクラブコンテストについては2週間といったように、十分に時間に余裕を持たせる。)
9. コンテストの前2から6週間に出場者にコンテストおよびコンテスト前の説明会の日時および場所を通知する(見本の手紙については付録を参照のこと)。この時に、情報パケットを各出場者に郵送する。パケットは、下記のものからなっている。
  - ・スピーチコンテスト規則集 (様式1171)
  - ・履歴データ用紙 (様式1189)
  - ・出場者の適格性および独自性の証明書 (様式1183)
10. ニュース発表をマスメディアに送ってコンテストを地域社会に売り込む。
11. コンテストの前に各出場者がコンテスト規則に基づき適格であることを確かめ、必要であれば、出場者に失格であることを通知する。各出場者の適格性を確認する場合は、世界本部のメンバーサービスチーム [speechcontests@toastmasters.org](mailto:speechcontests@toastmasters.org) へメールにて問い合わせる。



## 出場者に対する説明会

1. すべての出場者の出席と皆の氏名の読み方を確認する。(注:コンテスト終了時に各出場者と簡単な非公式のインタビューも行う。)
2. スピーチコンテスト規則を出場者と復習する。
3. 出場者の適格性および独自性の証明書(様式1183)を再確認する。各出場者にはこの様式への署名によって、適格性及び独自性のルールを読み、理解したことが証明されることを喚起する。
4. 出場者と計時の表示を確認する。
5. 演台、テーブル、照明、マイク、その他のような正確なスピーキング・エリアに出場者を馴らす。すべての出場者に、コンテストの前に拡声装置をテストする機会を与える。
6. スピーキングの順位を抽選で決める。

## コンテスト中

1. コンテストを簡単な紹介で開始する。聴衆に下記を知らせる。
  - ・規則を審査委員長および出場者と復習済みである。
  - ・出場者に計時信号の場所を知らせ済みである。
  - ・スピーチ中に写真を取ることはできない。
2. 各コンテスト出場者を紹介する。
  - ・出場者または主題について事前に知らせることはもちろん、出場者のクラブの名前または場所あるいは住所を知らせてはならない。
  - ・各出場者をゆっくりと明確に紹介する。
3. スピーチが終わると、審査委員に投票を完了するように依頼する。この時、集計係は投票用紙を回収し、審査委員長は計時係から時間記録用紙を、また同点決着審査委員の投票用紙をも回収し、確認する。すべての投票用紙と時間記録用紙が回収されると、審査委員長と投票集計係は、投票集計室に向かう。

- ・すべての審査委員の手引きおよび投票用紙、集計係の集計用紙、および時間記録用紙は、機密とみなされる。
  - ・すべての用紙を処分のために審査委員長に渡す。
  - ・優勝者および次点者が次のレベルに出場できない場合に備えて、すべての出場者の順位を示すリストを保管する。
4. 投票用紙集計係が投票を数えているあいだに、コンテスト委員長は、各出場者をインタビューする。
    - ・コンテストスピーチが終わり、結果が集計されている間に、出場者を再び紹介し、出場者が代表するクラブ、エリアおよびディストリクトを明らかにして、参加証明書を贈呈する。この時、出場者の履歴情報を手引きとして使用し、短いインタビューを行ってもよい。
  5. インタビューが完了すると、コンテストの結果を審査委員長から回収する。
  6. 異議申し立てに取り組む。異議申し立ては、審査委員と出場者に限定される。異議申し立ては、優勝者および次点者が公表される前に、審査委員長および/またはコンテスト委員長に提出する。コンテスト委員長は、出場者に、会合が閉会されると通知する前に、独自性または適格性に関して失格を通知しなければならない。出場者が独自性に基づき失格とされる前に、出場者は審査委員に弁明する機会を与えられなければならない。審査委員の過半数が、失格の決定に同意する必要がある。コンテスト委員長は、適格性に基づき出場者を失格にすることができる。
  7. 結果の公表に先立ち、コンテスト委員長は時間による失格があったか否かを通知しなければならないが、該当する出場者の氏名を明らかにしないものとする。審査委員長は、失格とされた出場者と個人的に議論してもよい。
  8. 閉会にあたって、コンテストを成功にする手助けをした者全員に謝意を述べる。

## コンテストの後

1. 審査委員長が「コンテスト入賞者通知用紙」(様式1182)を記入できるよう、審査委員長に出場者すべての連絡先情報を提供する。審査委員長は、次のレベルのコンテストのコンテスト委員長にこの情報を伝え、また、国際スピーチコンテストのディストリクトレベルの場合は、この情報を世界本部に伝える。
2. ニュース発表(および可能であれば写真)を各優勝者の地域社会の新聞および該当するなら会社の社報に送る。

3. コンテストに関するすべての請求書が速やかに支払済みであることを確かめる。

## 審査委員長のチェックリスト

---

### コンテストの前

1. コンテスト審査委員、集計係、計時係、および秘密の同点決着審査委員を指名し、協議する。
2. 集計係長として、3名の補助集計係を指名し、それぞれに集計係用の集計用紙(様式1176)を支給する。
3. コンテスト役員に、オンラインの [www.toastmasters.org/tlc](http://www.toastmasters.org/tlc) にある、スピーチコンテストトレーニングを見ておくよう促す。
4. 審査委員、集計係、および計時係に対する審査委員長説明会を行う。

### 審査委員長の説明会のチェックリスト

1. 各審査委員に下記の資料を配る。
  - ・スピーキング順序にならべた出場者のリスト(TMIでは、審査委員長説明会はコンテスト委員長説明会の後で開催されることを想定しているが、実際には両者は並行して開催されるものと思われるので、審査委員長説明会の時点では、スピーキング順序を知らせることは、無理であろう...訳注)
  - ・審査委員の手引きおよび投票用紙(様式1172)
  - ・コンテスト規則集(様式1171)
  - ・審査委員の適格性証明および倫理規定(様式1170)
2. 外部の障害または技術的な機能不全に備えて、コンテスト審査委員にコンテスト場所近くに座るように指示する。
3. 審査委員の手引きおよび投票用紙(様式1172)およびスピーキング・エリアを復習する。

4. 集計係用の集計用紙(様式1176)の使用について投票集計係に説明する。
5. 計時係と、時間記録用紙および計時係に対する指示(様式1175)を復習する。
6. 計時係にストップウォッチを支給する。
7. 必要であれば、計時機器の適切な使用について計時係に説明する。

## コンテスト中

1. 計時係から時間記録用紙および計時係への指示(様式1175)を回収する。
2. 同点決着審査委員から同点決着審査委員の手引きおよび投票用紙を回収する。
3. 適格性または独自性に関する抗議があれば、それを解決する。
4. 集計過程を監督する。正確性を確保するためすべての投票用紙が2回集計されるのを確かめる。
5. すべての出場者の順位を示すリストをコンテスト委員長に提供する。

## 出場者のチェックリスト

---

### コンテストの前

1. 国際、ユーモア、およびほら話コンテストに対しては、題目を選び、また自分自身の実質的には独自のスピーチを準備する。
2. 出場者に対する説明会に出席する。
3. コンテスト委員長に、使用予定の小道具について知らせる。
4. 出場者の適格性および独自性の証明書(様式1183)を再確認する。この様式へ署名することにより、適格性及び独自性のルールを読み、理解したことを証明する。
5. 出場者のリハーサルに参加し、スピーキング・エリアについてのノートを取る。

## コンテスト中

1. あなたの紹介の前の1分間の沈黙時間の間にすべての支持材料と視覚機材とを設置する。これを手伝ってくれるよう誰かに依頼してもよいが、こうすることは、コンテスト委員長やその他どのコンテスト役員の責任でもない。
2. あなたの紹介の後、ただちにスピーキング・エリアに向かい、スピーチを始めること。
3. スピーチの間中、計時機器を定期的にチェックする。赤い信号を見たならば、スピーチがまだ済んでいないとしても、まとめてしまう。
4. スピーチにただちに引き続いて、スピーキング・エリアから支持材料や視覚機材を片づける。これを手伝ってくれるように誰かに依頼してもよいが、こうすることは、コンテスト委員長またはその他どのコンテスト役員の責任でもない。

# スピーチコンテスト資料

[www.toastmasters.org/speechcontestkits](http://www.toastmasters.org/speechcontestkits)

(参考情報: 日本語資料は、District 76 のサイト <http://www.district76.org/ja/> を参照。)

## 全てのコンテスト向け

- Speech Contest Rulebook (Item 1171)
- Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (Item 1170)
- Speaker's Certification of Eligibility and Originality (Item 1183)
- Speech Contest Time Record Sheet and Instructions for Timers (Item 1175)
- Counter's Tally Sheet (Item 1176)
- Speech Contestant Profile (Item 1189)
- Notification of Contest Winner (Item 1182)

## 国際スピーチコンテスト

- International Speech Contest Judge's Guide and Ballot (Item 1172)
- International Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (Item 1188)

## 論評コンテスト

- Evaluation Contest Judge's Guide and Ballot (Item 1179)
- Evaluation Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (Item 1179A)

## ユーモアスピーチコンテスト

- Humorous Speech Contest Judge's Guide and Ballot (Item 1191)
- Humorous Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (Item 1191A)

## テーブルトピックスコンテスト

Table Topics Contest Judge' s Guide and Ballot (Item 1180)

Table Topics Contest Tiebreaking Judge' s Guide and Ballot (Item 1180A)

Tall Tales Contest Judge' s Guide and Ballot (Item 1181)

Tall Tales Contest Tiebreaking Judge' s Guide and Ballot (Item 1181A)

## 追加資料

スピーチコンテストに関してよく出る質問

[www.toastmasters.org/speechcontestFAQ](http://www.toastmasters.org/speechcontestFAQ)

国際スピーチコンテスト役員の実任と指針

[www.toastmasters.org/SpeechContestRoles](http://www.toastmasters.org/SpeechContestRoles)

スピーチコンテストEーラーニングモジュール

[www.toastmasters.org/speechcontestmodule](http://www.toastmasters.org/speechcontestmodule)

どうしてスピーチコンテスト役員にならなければならないのか

[www.toastmasters.org/official](http://www.toastmasters.org/official)

これはテストか？ あるいは劇？ コンテストの日を楽しみましょう

[www.toastmasters.org/ContestDay](http://www.toastmasters.org/ContestDay)

パブリックスピーキングの世界チャンピオン

[www.toastmasters.org/worldchamps](http://www.toastmasters.org/worldchamps)

スピーチコンテストポリシー 6.0

[www.toastmasters.org/policyprotocol](http://www.toastmasters.org/policyprotocol)